

臨床研修病院及び臨床研修医に対するアンケート結果概要

新しく必修化となった医師臨床研修制度が平成16年4月に施行されて一年が過ぎたことを踏まえ、各臨床研修病院・大学病院や臨床研修医の方々を対象に現状や認識等に関するアンケートを実施しました。その概要は以下のとおりです。

1. 対象 単独型及び管理型臨床研修病院
単独型相当及び管理型相当大学病院
当該病院の新制度に基づく研修プログラムに在籍する臨床研修医

2. 調査時点 平成17年 3月 1日現在

3. アンケート結果

〔1〕臨床研修医に対するアンケート

(1) 回収率

対象者数	7,392名（臨床研修病院3,262名、大学病院4,130名）
回答者数	4,378名（臨床研修病院2,039名、大学病院2,399名）
回収率	59.2%

(2) 結果概要

1) 臨床研修病院、大学病院別の分析

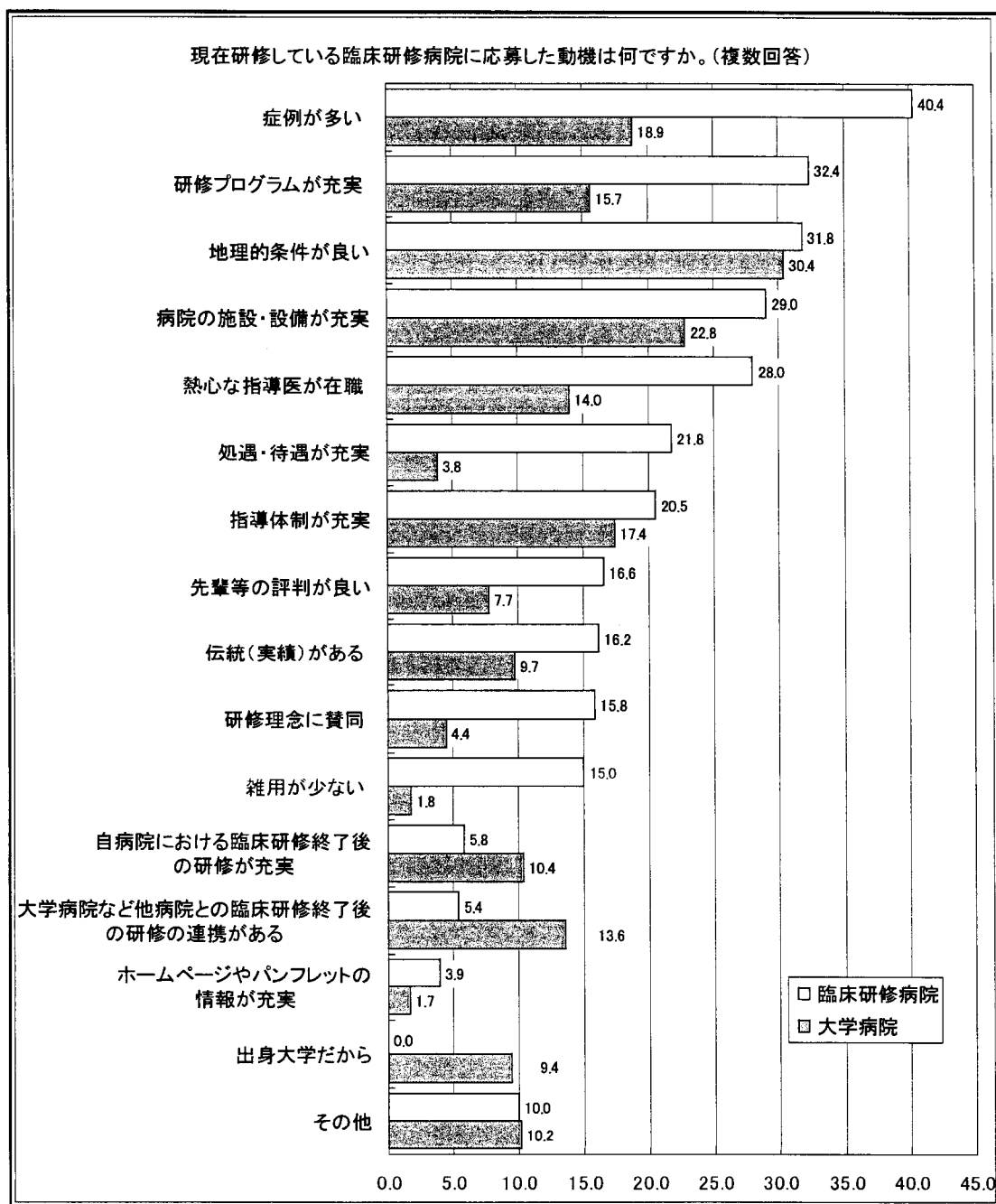
① 現在研修している病院に応募した動機について（複数回答）

各研修医がそれぞれ在籍する病院に応募した動機について、研修医が在籍する病院として臨床研修病院と大学病院に区分した場合に、臨床研修病院では「症例が多い（40.4%）」、「研修プログラムが充実（32.4%）」が上位となり、大学病院では、「地理的条件が良い（30.4%）」、「病院の施設・設備が良い（22.8%）」が上位となっており、応募する動機について差が認められる。

「地理的条件が良い」を選択した研修医は、臨床研修病院で31.8%、大学病院で30.4%であった。平成16年医師臨床研修マッチングプログラム参加者アンケート結果（<http://www.jrmp.jp/question16-1.pdf>）と比較すると、この中には「実家に近い」、「都市部に近い」、「自分の居住地に近い」等といった要因が含まれていると考えられる。

その他に、臨床研修病院の研修医が大学病院の研修医と比較して、多く選択した項目としては「熱心な指導医が在職（28.0%）」、「処遇、待遇が充実（21.8%）」等が挙げられる。

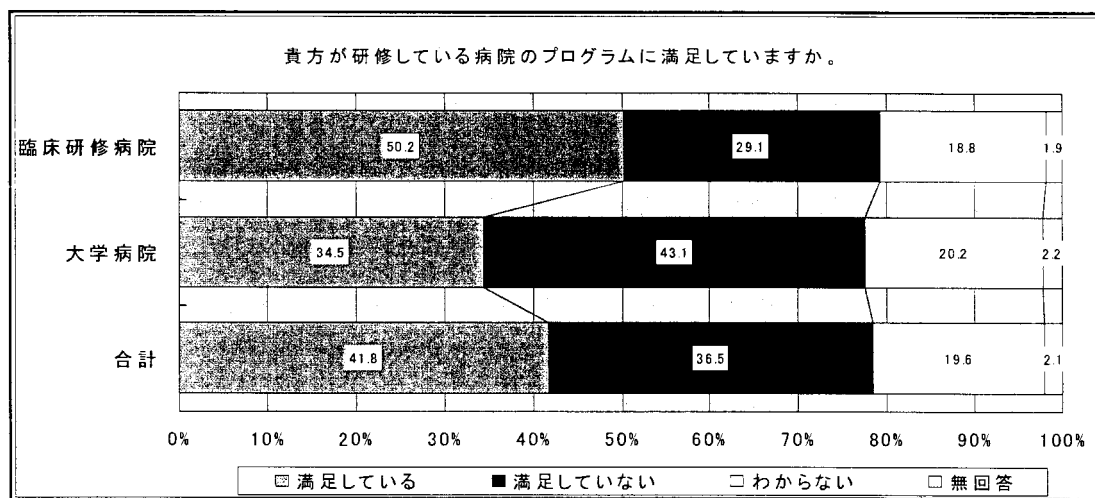
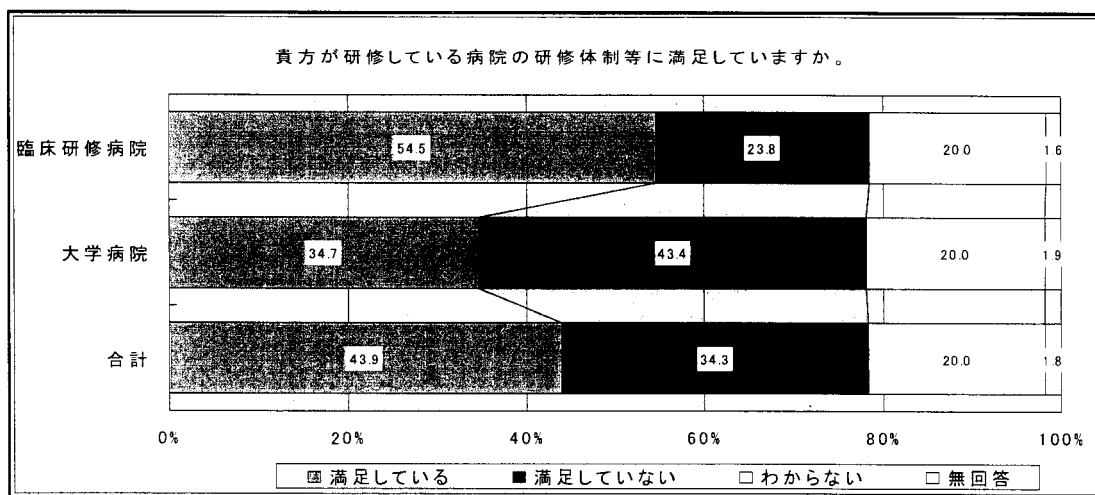
一方、大学病院の研修医が臨床研修病院の研修医と比較して、多く選択した項目としては「大学病院など他病院との臨床研修終了後の研修の連携がある（13.6%）」、「自病院における臨床研修終了後の研修が充実（10.4%）」が挙げられる。



② 現在受けている臨床研修の満足度について

各研修医が研修体制やプログラムに満足しているか否かについて、研修医全体では概ね4割が満足し、3割が満足していないと回答していた。

これを臨床研修病院と大学病院に区分すると、臨床研修病院では、概ね5割が満足し、2割が満足しておらず、大学病院では、概ね3割が満足し、4割が満足していない状況にあり、臨床研修病院と大学病院とでは満足度に差が生じている。



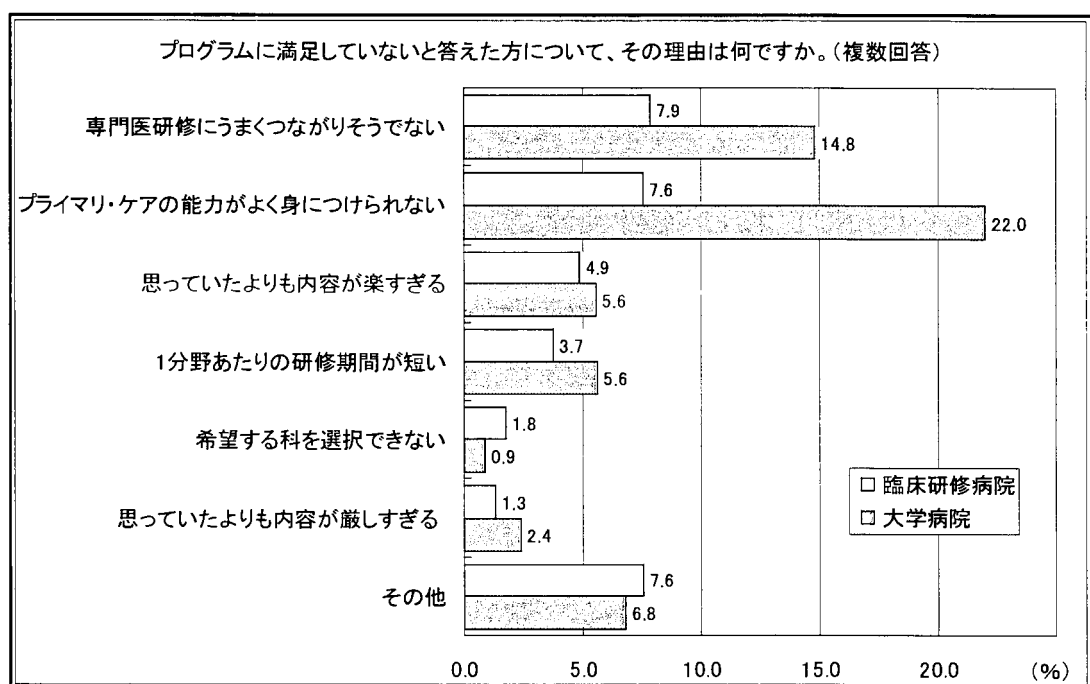
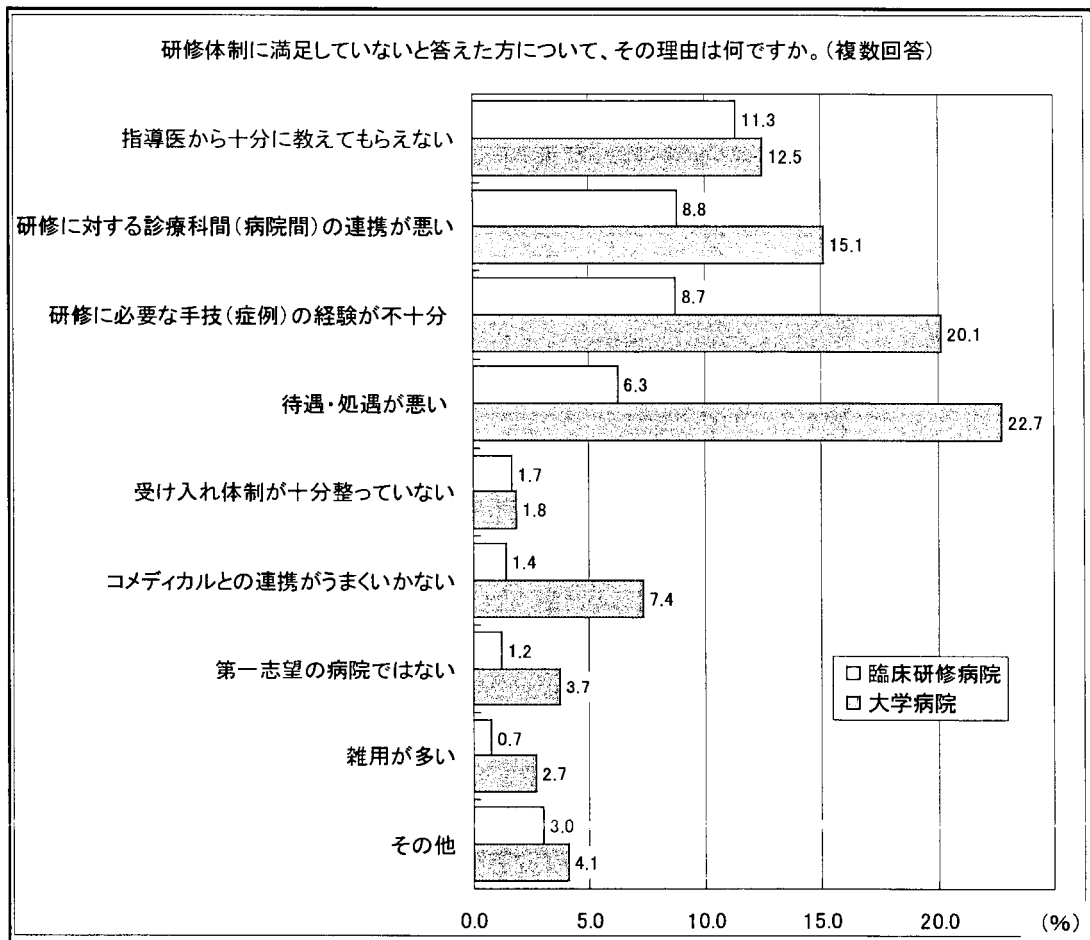
③ 研修体制やプログラムに満足していない理由について

満足していない理由についても、臨床研修病院と大学病院とでは差が認められる。研修体制について、全体に大学病院の方が不満を挙げた者が多いが、特に、「処遇・待遇が悪い (22.7%)」、「手技の経験が不十分 (20.1%)」、「診療科間の連携が悪い (15.1%)」が上位を占めている一方、臨床研修病院では、「指導医から十分に教えてもらえない (11.3%)」、「診療科間の連携が悪い (8.8%)」、「手技の経験が不十分 (8.7%)」が上位を占めている。(複数回答)

なお、大学病院において「処遇・待遇が悪い」と答えた者が多いが、このほどとりまとめた研修医の平均給与調査によれば、臨床研修必修化に伴い、特に大学病院での処遇の改善が著しく、臨床研修病院との較差はかなり縮小している。(別添「参考資料」)

プログラムについてもやはり大学病院の方が不満を挙げた者が多いが、特に、「プライ

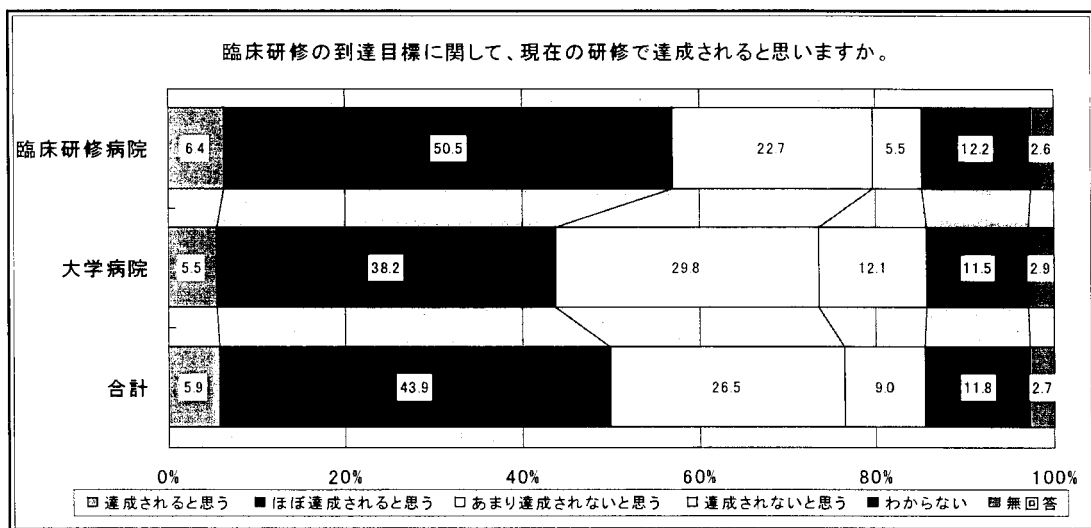
マリ・ケアの能力が身に付けられない (22.0%)」、「専門研修にうまくつながりそうでない (14.8%)」が上位を占め、臨床研修病院では、「専門研修にうまくつながりそうでない (7.9%)」、「プライマリ・ケアの能力が身に付けられない (7.6%)」が上位を占めている。
(複数回答)



④ 臨床研修の到達目標の達成について

臨床研修の到達目標が達成されるか否かの各研修医の認識について、「達成されると思う」、「ほぼ達成されると思う」を合わせた割合が、研修医全体で約半数の49.8%、臨床研修病院に在籍する研修医で56.9%、大学病院に在籍する研修医では43.7%であった。

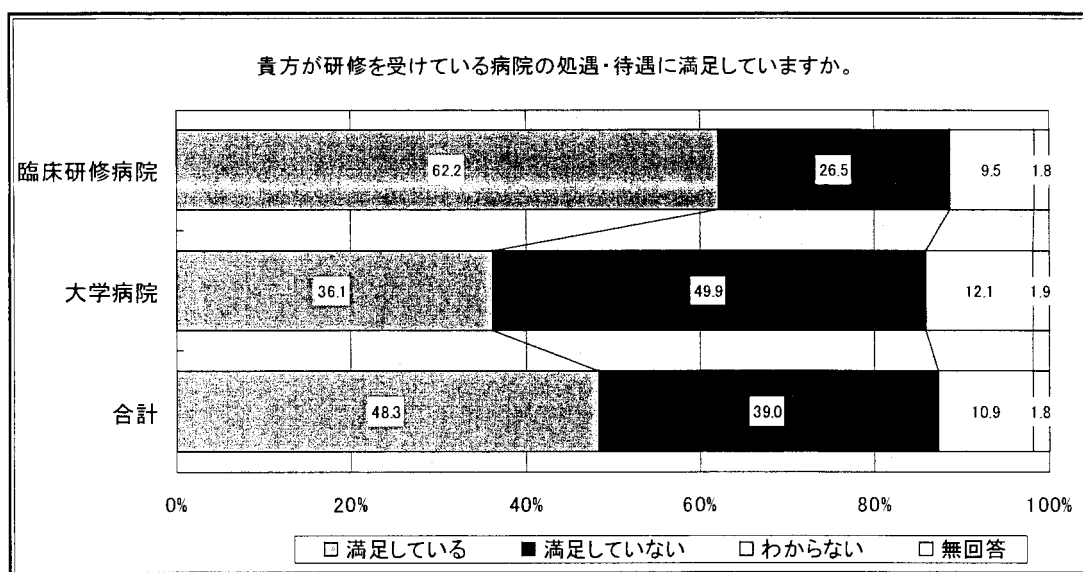
反対に、「あまり達成されないと思う」、「達成されないと思う」を合わせた割合は、研修医全体で35.5%、臨床研修病院では28.2%、大学病院では41.9%であった。



⑤ 処遇・待遇の満足度について

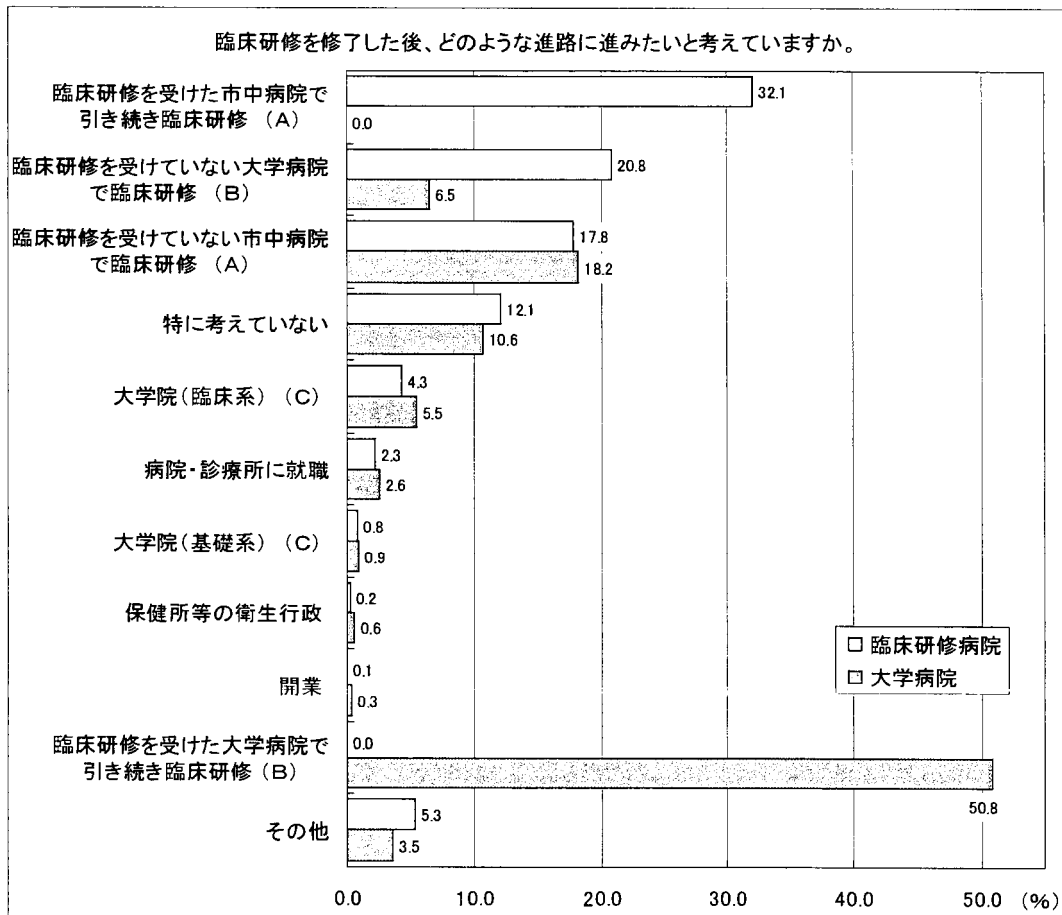
処遇・待遇に満足しているか否かの認識について、「満足している」と答えた割合が、研修医全体で48.3%、臨床研修病院に在籍する研修医では62.2%、大学病院に在籍する研修医では36.1%であった。

反対に、「満足していない」と答えた割合が、研修医全体で39.0%、臨床研修病院に在籍する研修医では26.5%、大学病院に在籍する研修医では49.9%であった。



⑥ 臨床研修修了後の進路について

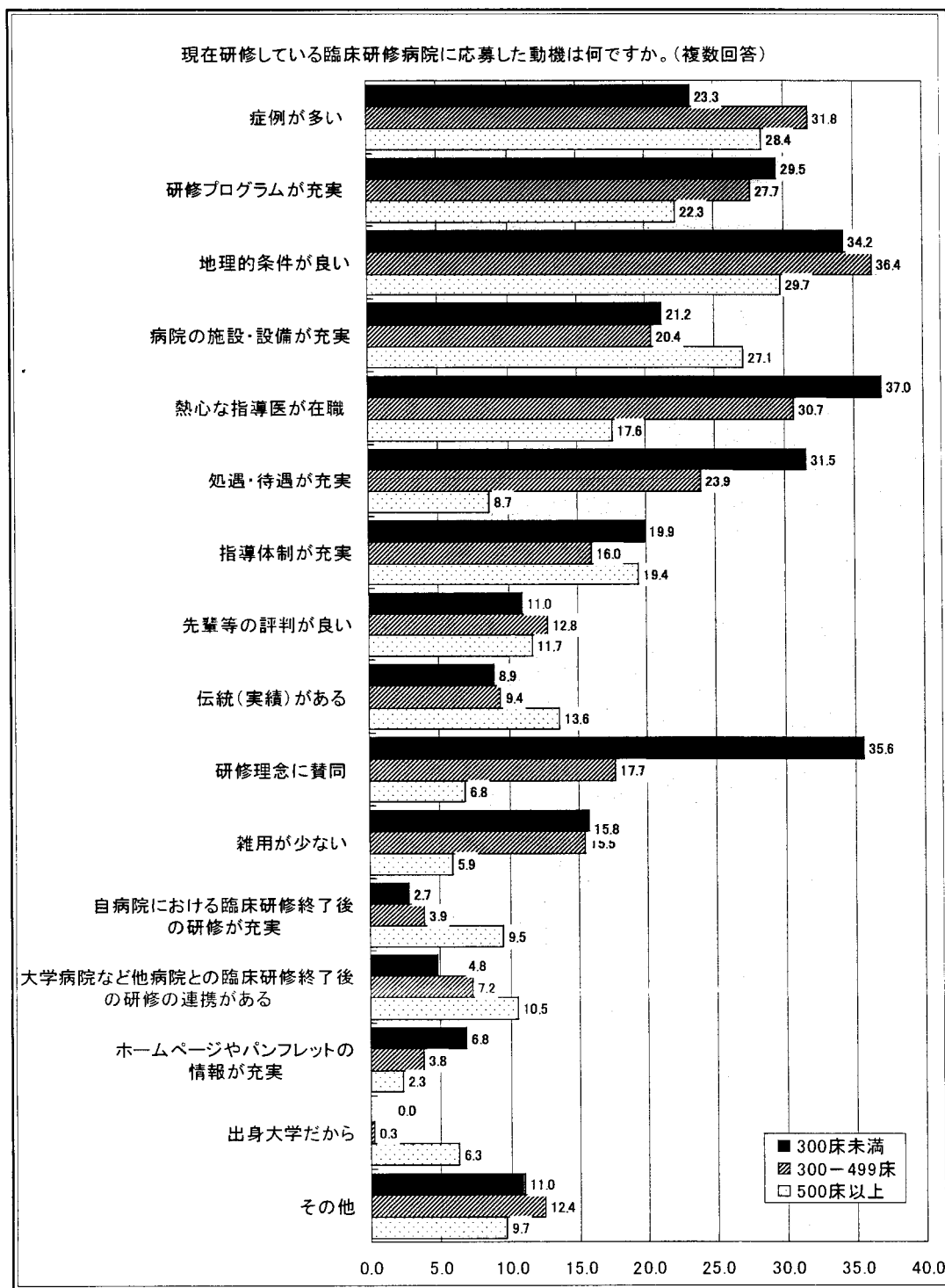
臨床研修修了後の進路の希望について在籍している病院別に見ると以下のグラフの通りであった。これをまとめると、臨床研修病院に在籍している研修医の希望は、臨床研修病院が49.9%（Aの合計）、大学病院が20.8%（Bの合計）、大学院が5.1%（Cの合計）であった。大学病院に在籍している研修医の希望は、臨床研修病院が18.2%（Aの合計）、大学病院が57.3%（Bの合計）、大学院が6.4%（Cの合計）であった。



2) 病床規模別分析

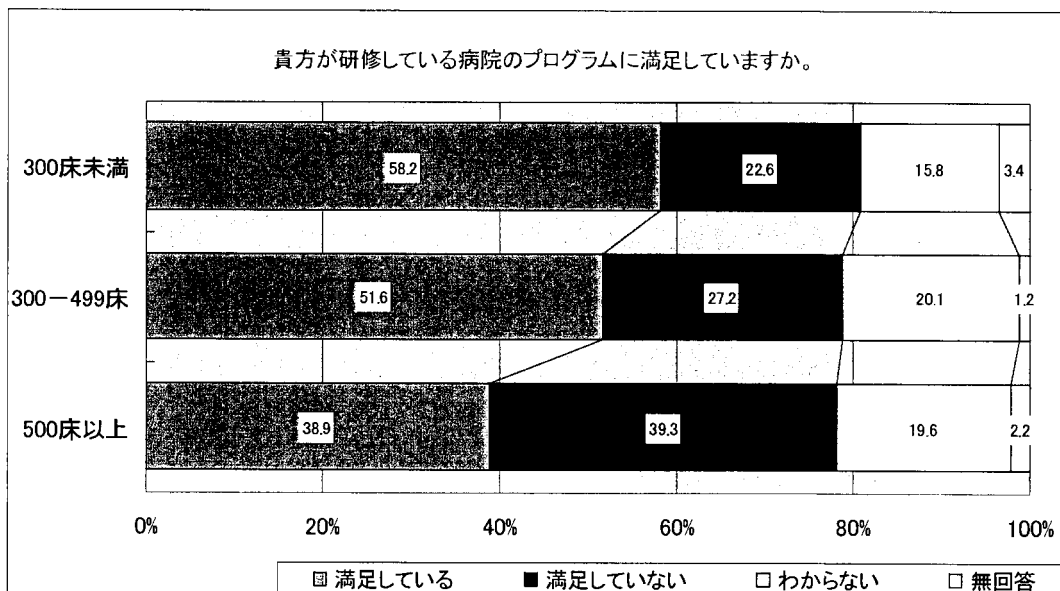
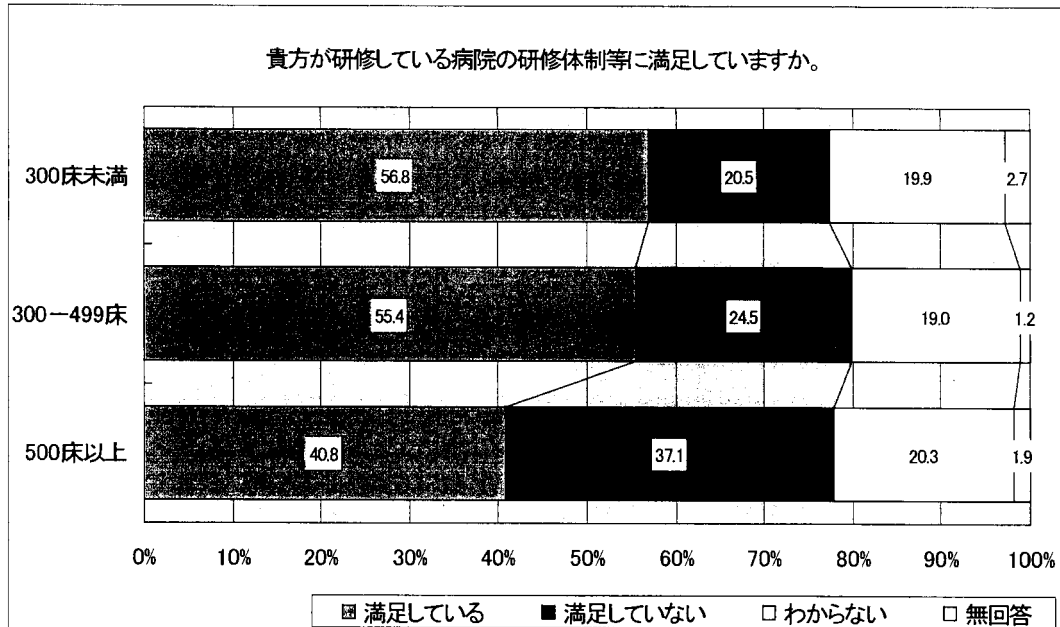
① 現在研修している病院に応募した動機について（複数回答）

各研修医がそれぞれ在籍する病院に応募した動機について、病床規模別に見てみると、300床未満の病院においては「熱心な指導医が在職（37.0%）」、「研修理念に賛同（35.6%）」といった項目が多く挙げられていた。一方、500床以上の病院においては「地理的条件が良い（29.7%）」、「症例が多い（28.4%）」といった項目が多く挙げられていた。



② 現在受けている臨床研修の満足度について

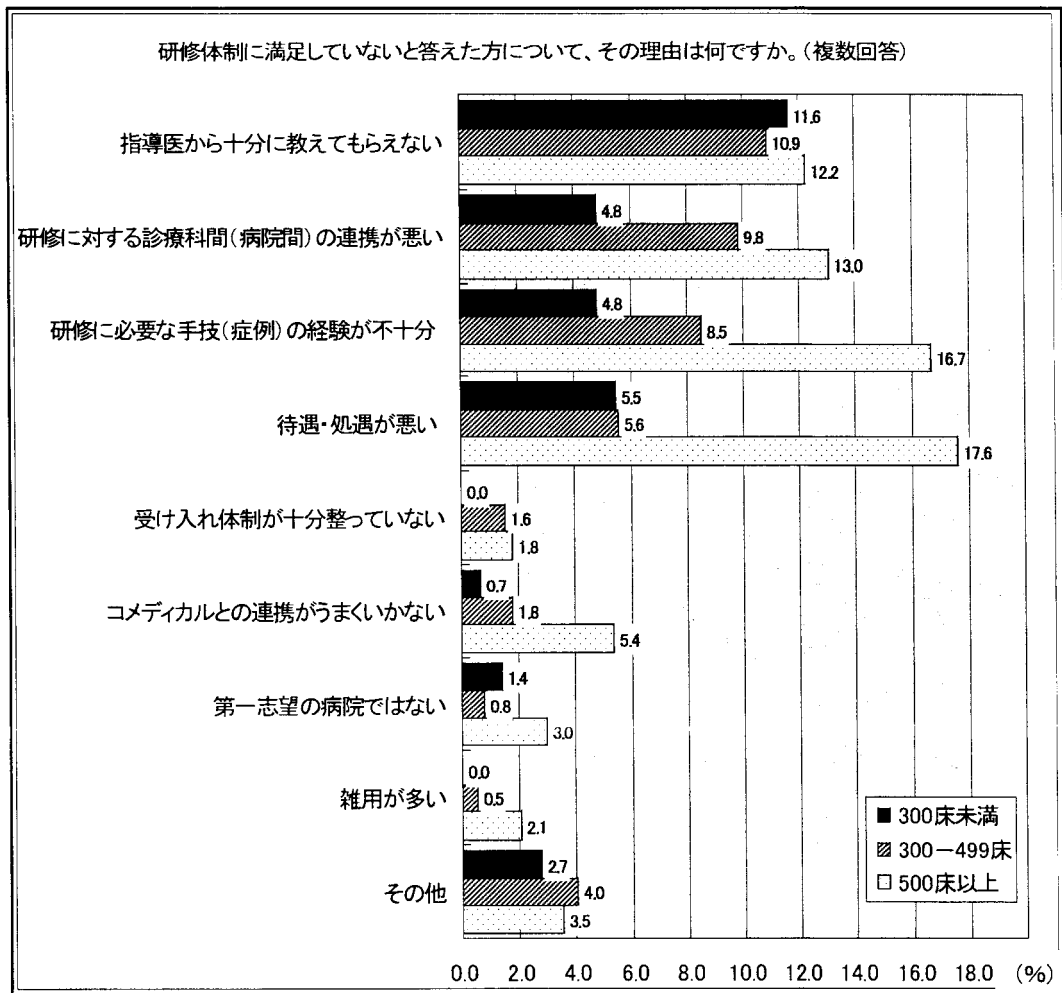
各研修医が研修体制やプログラムに満足しているか否かについて、病床規模別に見ると病床数が多くなるほど、研修体制やプログラムに「満足していない」と回答した者が多いことがわかる。

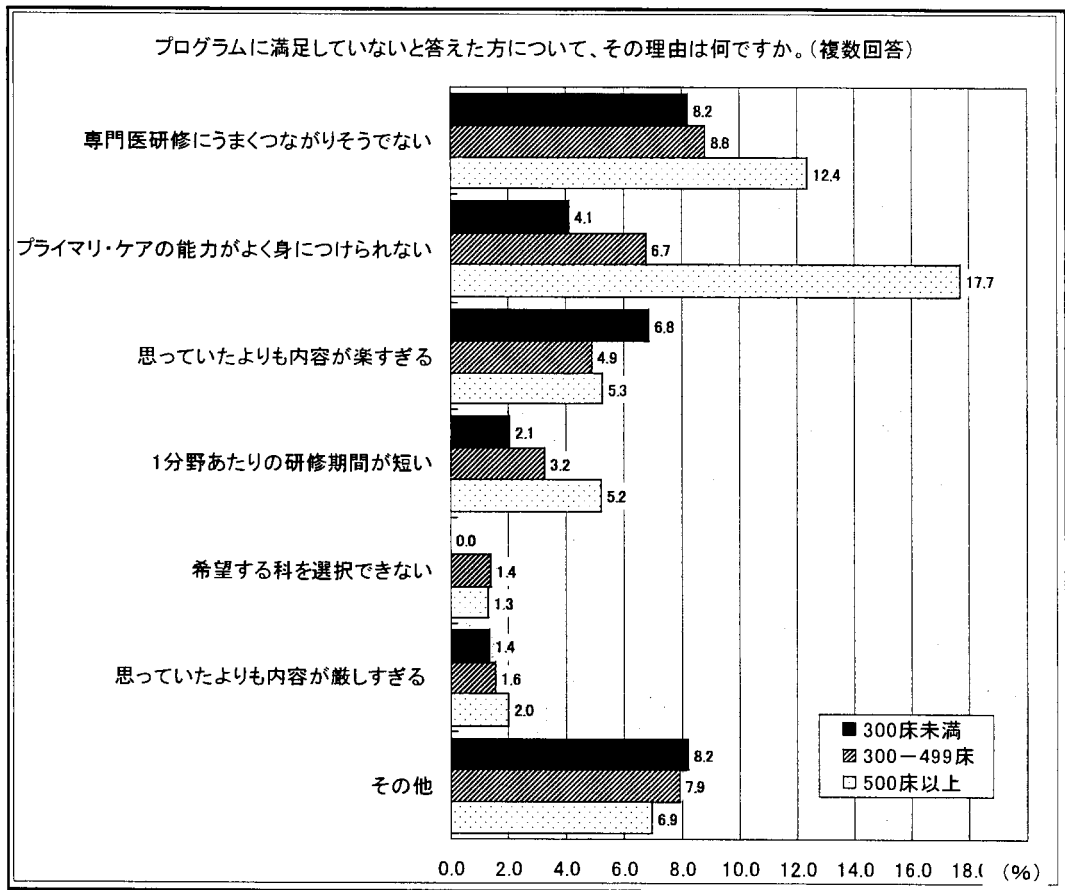


② 研修体制やプログラムに満足していない理由について

研修体制に満足していない理由について病床規模別に見ると、500床以上の病院において、「処遇、待遇が悪い（17.6%）」、「研修に必要な手技（症例）の経験が不十分（16.7%）」を多くの研修医が挙げていた。

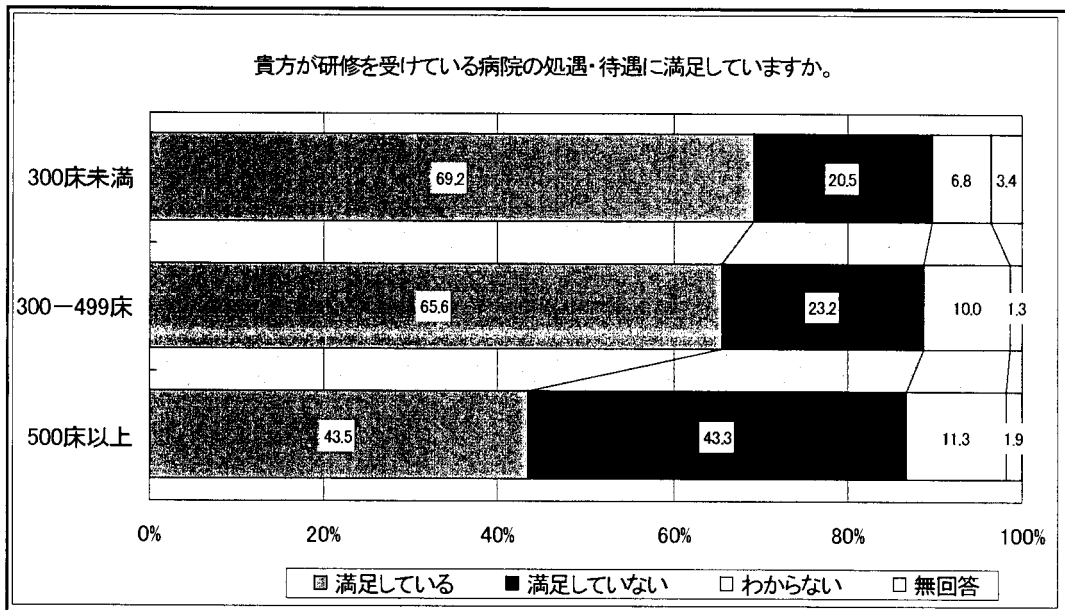
プログラムに満足していない理由について病床規模別に見ると、500床以上の病院において「プライマリ・ケアの能力がよく身につけられない（17.7%）」を多くの研修医が挙げていた。





③ 処遇・待遇の満足度について

また、処遇・待遇に満足しているか否かの認識について病床規模別に見ると、病床数が多くなるほど、処遇・待遇に「満足していない」と回答した者が多いことがわかる。



〔2〕臨床研修病院に対するアンケート

(1) 回収率

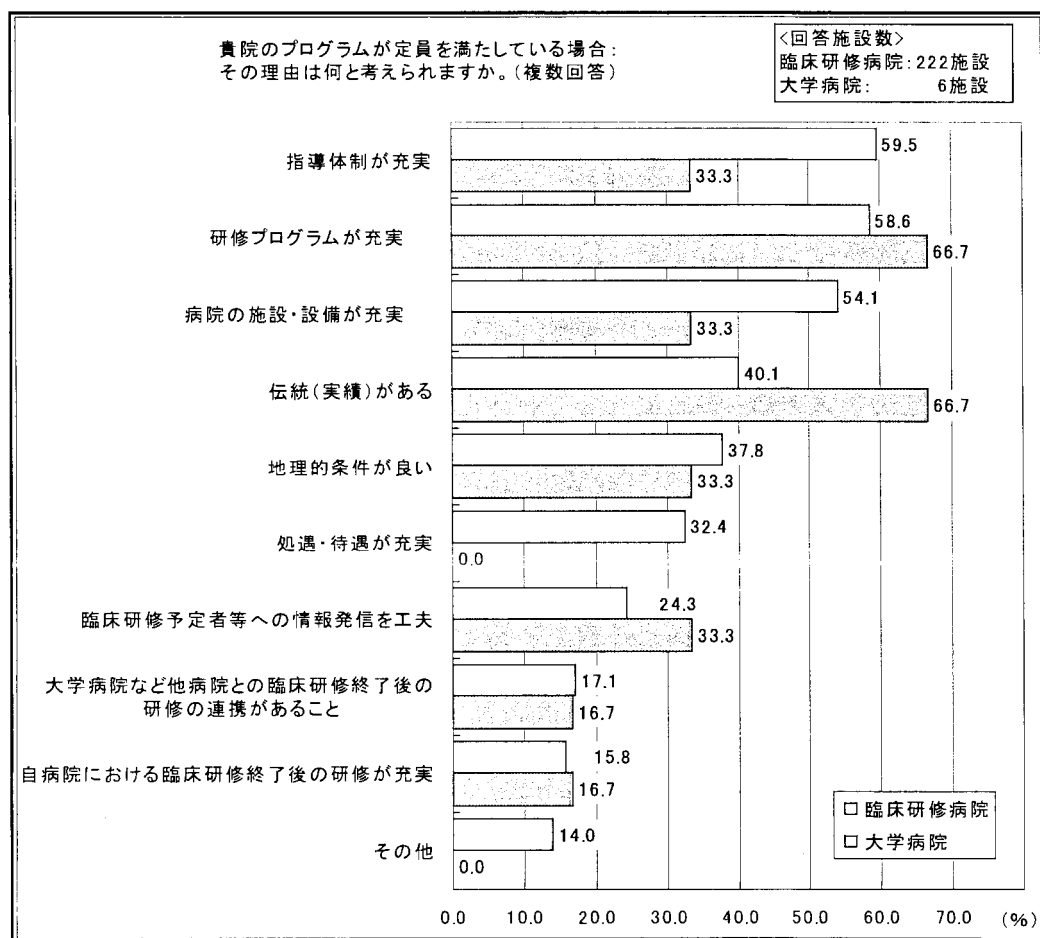
対象病院数 927施設 (臨床研修病院827施設、大学病院100施設)
 回答病院数 856施設 (臨床研修病院758施設、大学病院98施設)
 回収率 92.3%

(2) 結果概要 (臨床研修病院、大学病院別の分析)

① 研修医の定員充足に関する理由と課題について (複数回答)

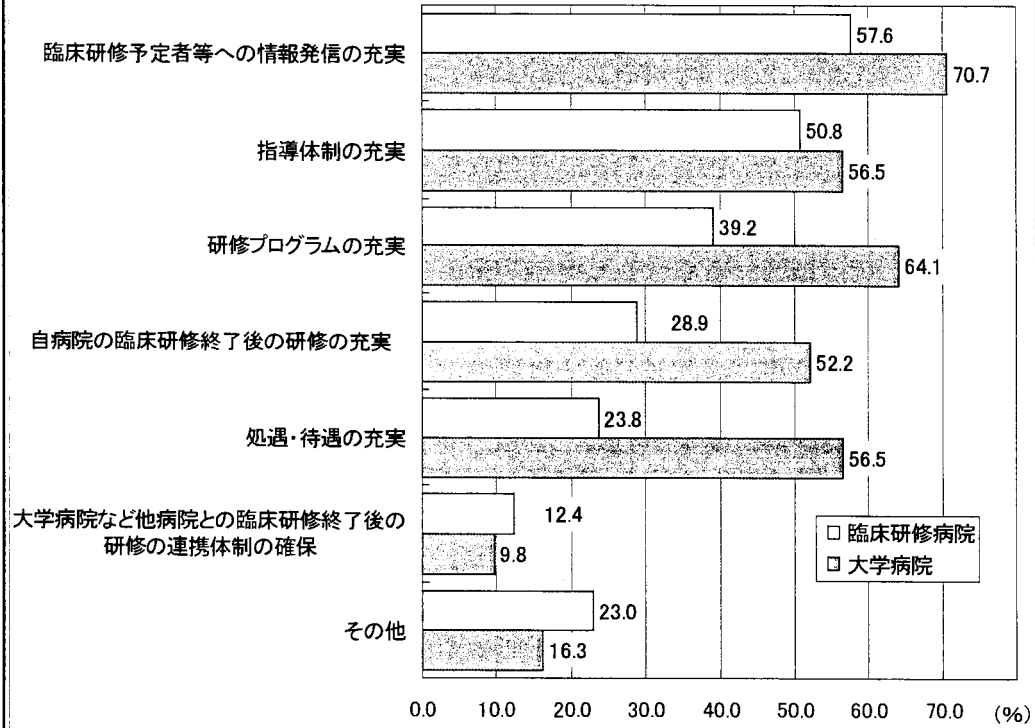
研修医が募集定員を満たしている場合について、定員を満たしている理由を臨床研修病院と大学病院で比較すると、臨床研修病院では「指導体制が充実 (59.5%)」、「研修プログラムが充実 (58.6%)」を理由とした病院が多く、大学病院では「研修プログラムが充実 (66.7%)」、「伝統 (実績) がある (66.7%)」を理由とした病院が多かった。

研修医が募集定員を満たしていない場合について、定員確保のための課題に関する認識を臨床研修病院と大学病院で比較すると、臨床研修病院では「臨床研修予定者等への情報発信の充実 (57.6%)」、「指導体制の充実 (50.8%)」が半数を超えているが、大学病院では「臨床研修予定者等への情報発信の充実 (70.7%)」、「指導体制の充実 (56.5%)」以外に、「研修プログラムの充実 (64.1%)」、「処遇・待遇の充実 (56.5%)」、「自病院の臨床研修終了後の研修の充実 (52.2%)」が半数を超え、多くの項目を課題として挙げていた。



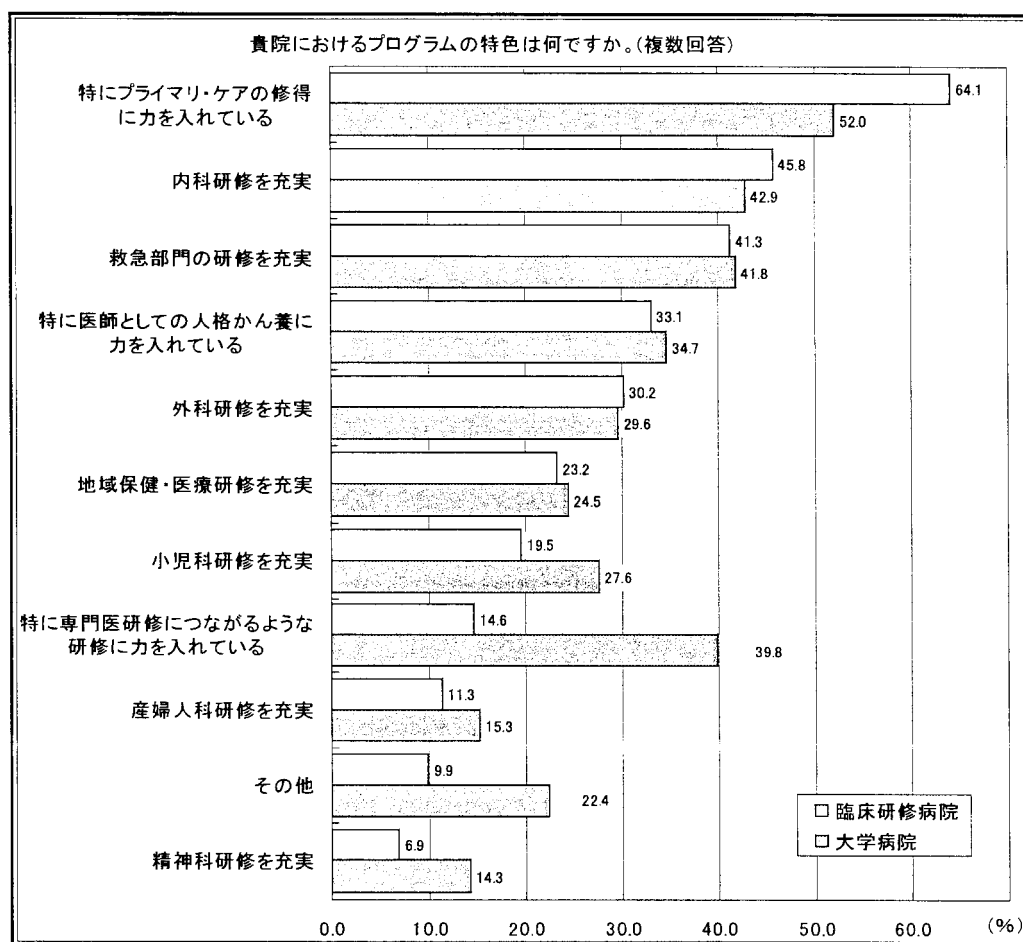
貴院のプログラムが定員を満たしていない場合：
定員確保のための課題は何と考えますか。(複数回答)

<回答施設数>
臨床研修病院：526施設
大学病院：92施設



② 臨床研修プログラムの特色について（複数回答）

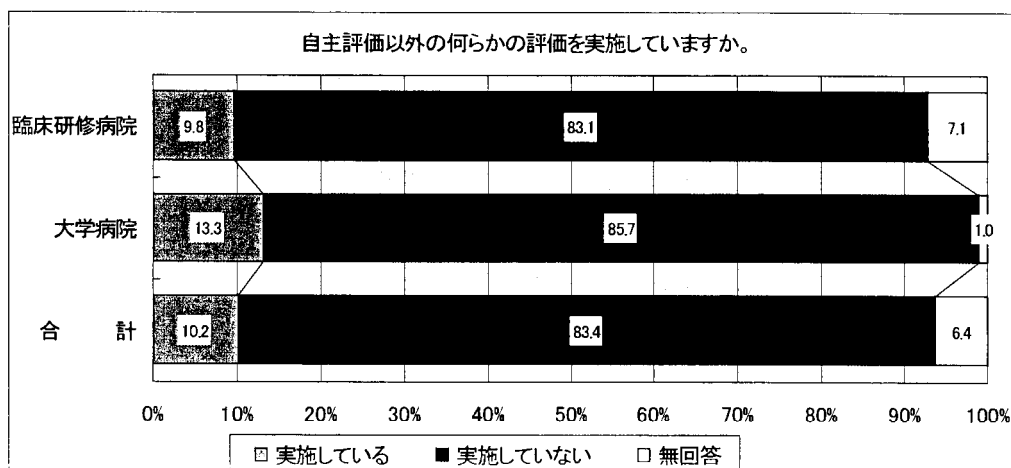
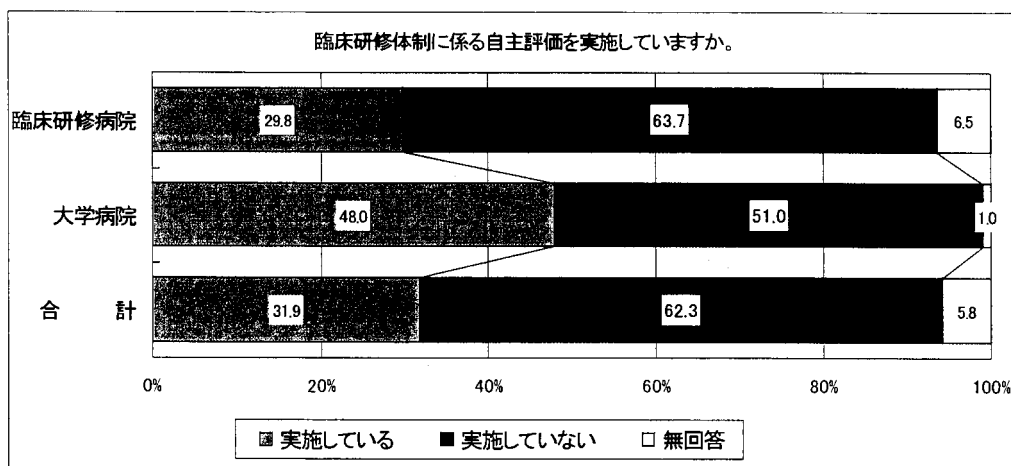
各病院におけるプログラムの特色として力を入れている点については、臨床研修病院、大学病院ともに「特にプライマリ・ケアの修得に力を入れている」、「内科研修を充実」、「救急部門の研修を充実」が多く挙げられていたが、「特に専門医研修につながるような研修に力を入れている」については、臨床研修病院に比べ大学病院で特に多く挙げられた。



③ 臨床研修体制に係る評価について

臨床研修体制に係る自主評価については、31.9%の病院が「実施している」と回答し、62.3%の病院が「実施していない」と回答した。臨床研修病院、大学病院別に見ると、大学病院において48.0%の病院が「実施している」と回答し、大学病院において、自主評価の取り組みが進んでいた。

また、自主評価以外の何らかの評価を実施しているかという問については、10.2%の病院が「実施している」と回答し、83.4%の病院が「実施していない」と回答した。臨床研修病院、大学病院別に見ると、わずかな差ではあるが、大学病院において13.3%の病院が「実施している」と回答し、臨床研修病院よりも割合が多かった。



研修医の平均給与（年収）の比較

区 分	平成15年度（旧制度）	平成16年度（新制度）	差引増△減額
臨床研修病院	4,245,413 ^円	4,223,636 ^円	△21,777 ^円
国立①	2,897,122	3,836,323	939,201
公立	4,286,721	4,186,919	△99,802
公的	4,547,842	4,284,070	△263,772
その他	4,635,405	4,378,283	△257,122
大学附属病院	2,040,051	3,179,289	1,139,238
国立②	2,383,418	3,433,817	1,050,399
公立	2,309,335	3,763,542	1,454,207
私立	1,461,016	2,749,984	1,288,968
全 体	2,645,810	3,653,496	1,007,686

国立①：厚生労働省（国立病院機構）、防衛庁、日本郵政公社、
労働福祉事業団（労働者健康福祉機構）

国立②：文部科学省（国立大学法人）

公 立：都道府県、市町村

公 的：日本赤十字社、社会福祉法人恩賜財団済生会、厚生農業協同組合連合会

その他：上記以外の公益法人、医療法人等